

Farming inform
営農情報

2017
6月号



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085



今月の話題

- ◆ 品質向上！6月は品質を左右する重要局面
- ◆ 玄米中カドミウムについて考える
～栽培リスクの再認識～
- ◆ 農作業に潜むリスク ～第一弾～
- ◆ 農政ダイジェスト

農家所得増大
”コシヒカリプレミア88”
チャレンジ！

爪幅が狭い



密苗の田植え試験に立ち会いました。ヤンマー6条植えで実演され、乾糶300g播種・栽植密度60株/坪で苗箱10枚使用という結果。

当日は深水気味ではあったものの、苗あたりの土の掻き取り分が少なくなるため、軽量培土使用の苗は浮き苗も発生しました。育苗培土の選定も重要になります。

メモ

生育順調！！
中干し遅れに注意

- ✓ 稲の生育・品質を左右する重要な時期です。ほ場を確認し、気になる事があれば、お気軽にご連絡下さい。

いもち病予防
忘れずに
しっかり処分



イネの生育中期（6月頃は）には、イネの栄養生長から生殖生長に変わる重要な時期です。この時期の“栽培技術”や“ほ場の見回りポイント”の重要性を再認識し、高品質米生産へ！

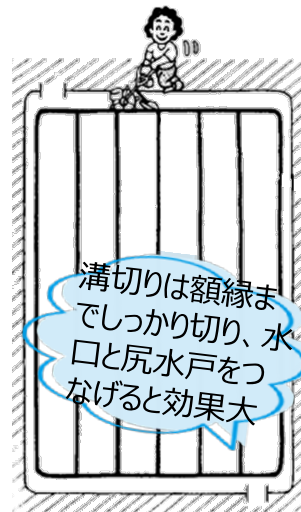


栄養生長 生殖生長

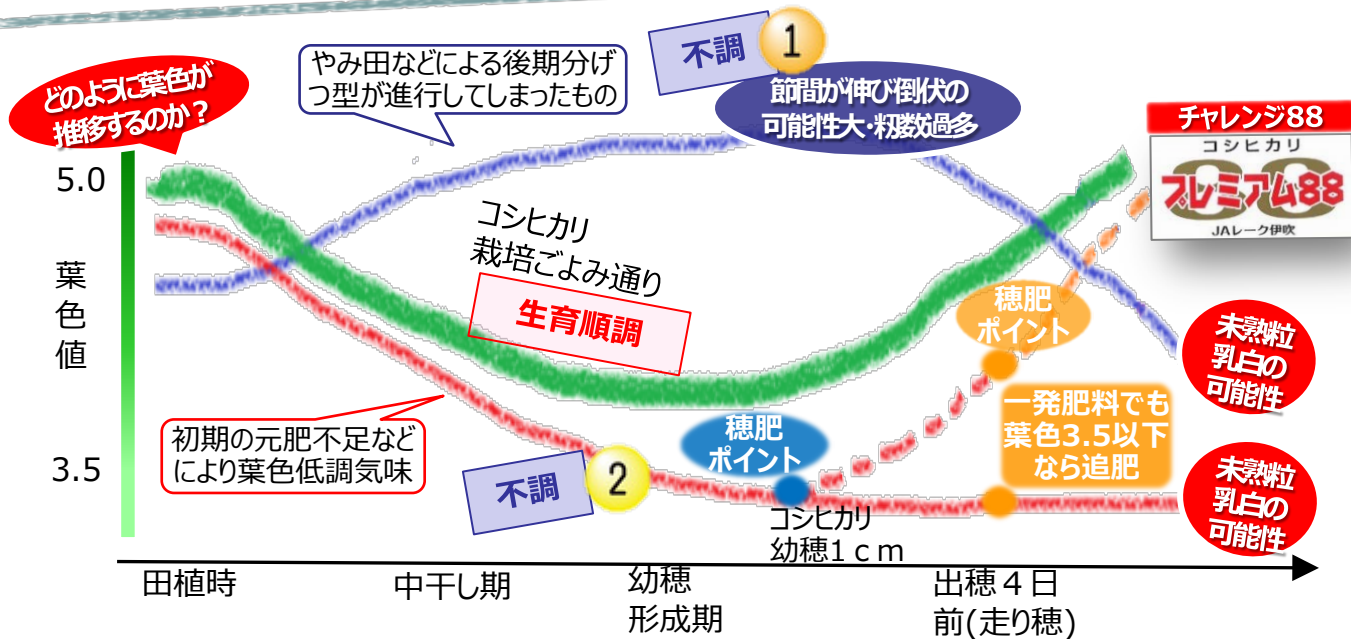
～“溝切り”作業は品質を左右する転換期～

基本技術
再確認

	入水	排水
効果	<p>間断かん水が容易となり、酸素と水を交互に供給し、根の活力維持</p> <p>出穂期以降の登熟や倒伏防止に</p> <p>圃場の隅々にしっかり入水することで米粒の厚さが増し、乳白や胴割れ防止効果も</p> <p>収量・品質アップ</p>	<p>大雨などの排水を速やかに行い、均一に乾かすことができる</p> <p>無効分げつの抑制、確実な地固め</p> <p>スムーズな排水が可能で、収穫ギリギリまでの間断かん水が可能</p> <p>効率的な収穫作業、収量・品質アップ</p>



～葉色から判断する品質リスク～



不調 1
葉色が濃い場合は、根張り向上や生育抑制など倒伏リスク軽減に備えが必要！

不調 2
葉色が薄い場合は、穂肥えの施肥時期を見極め、栄養の適量補給が重要！

食味向上には、マルチサポート2号
節間伸長が予想される場合も、ケイ酸の働きで根張りを向上させ、倒伏軽減に効果あり！

吸収効率アップ！

- ✓ 出穂40日前に落水状態で
- ✓ 施用量30～60㌔
- ✓ 水に溶けやすいため、尻水戸を止めて流出防止

玄米中カドミウムについて考える ～栽培リスクの再確認～

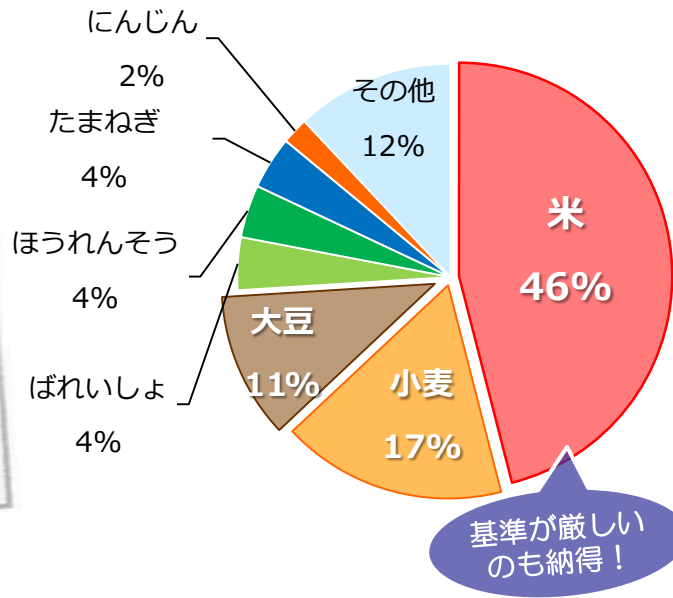
～カドミウムと日本のお米～

◆カドミウムは土壌または、水など環境中に広く存在するため、米、野菜、果実、肉、魚など多くの食品に含まれていますが、米から摂取する割合が最も多く、カドミウムの1日摂取量の約**4割は米から**摂取されているものと推定されています。

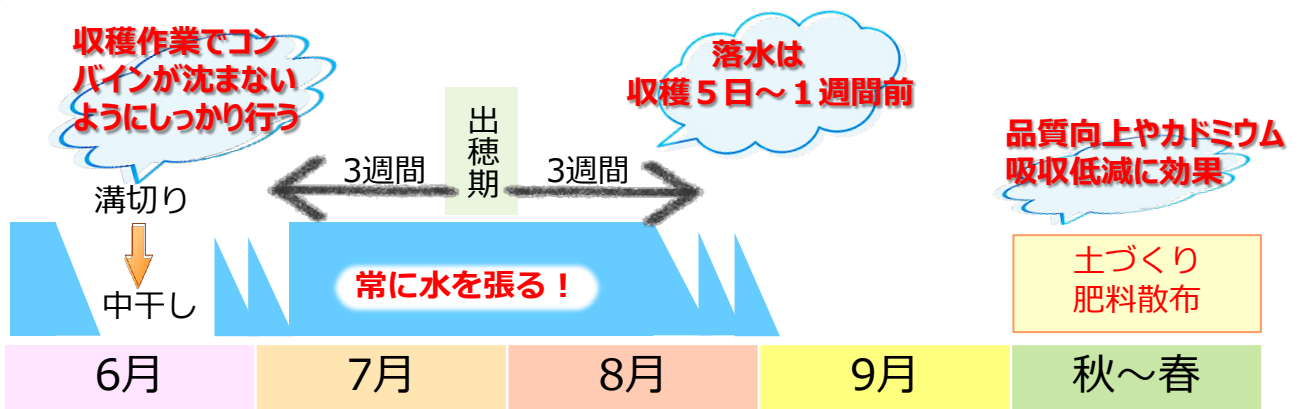
重要!

農作物は根を通じて土壌中のカドミウムを吸収しますが、吸収抑制技術を実施することにより、農産物中のカドミウム濃度を下げることが可能です。安心、安全な米作りの為、**土づくり資材散布に加え、湛水管理を継続的に取組むことが必要**になります。

【農産物各品目のカドミウム平均摂取量の割合】

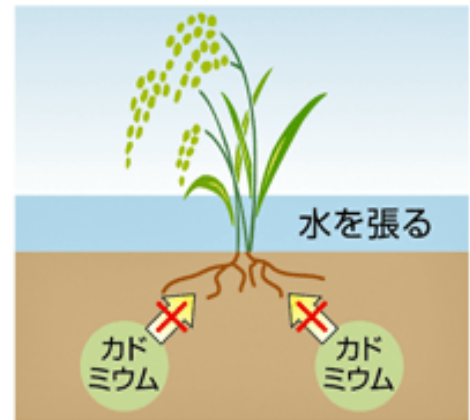


湛水管理によるカドミウム吸収抑制効果（基本技術）



◆カドミウムは、土壌中の酸素が少ない状態（＝還元状態）になると、硫黄と結合して水にとけにくくなります。

◆このため、水稻がカドミウムを吸収・蓄積する時期に水田に水を張った状態（＝還元状態）を保つことにより、米のカドミウム含有量を低減させることが可能です。



ポイント

しかし、すぐにカドミウム吸収に効果が出るわけではなく、田が効果的な還元状態に変化するまで**約1週間のタイムラグ**があるので注意が必要



湛水管理は、玄米中のカドミウムの吸収を抑制するための重要な技術です。

J Aレーク伊吹農産物安全対策協議会では、関係機関と一体となり湛水管理実施調査・啓発を実施します!



「尻水戸の“かけ流し”も確認します

農作業に潜む身体リスク ～第一弾～

機械作業事故

農作業の環境

紫外線

農作業中の身体への脅威

熱中症

虫
(マダニ等)

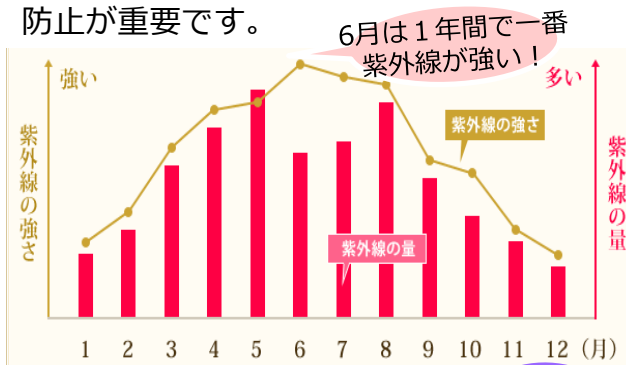
天候
(雷・雨風の
中の見回り)

農作業には身体へのリスクになるものが多く潜んでいます。よく注目されがちなのは、機械作業事故ですが、そのほかの身体へ影響を及ぼすものにも注意する必要があります。

今回は、紫外線とマダニについて説明します。

①紫外線

外での活動時間が長い農作業は紫外線を多く浴びてしまいます。健康への悪影響予防のために、紫外線の浴びすぎ防止が重要です。



行動で防ぐ

- ・日焼け止めの使用
- ・紫外線の強い時間帯の作業を避ける

服装で防ぐ

- ・紫外線カットメガネ・サングラス
- ・帽子、首にタオル、長袖の作業着

対策

②虫 (マダニ)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは?

ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染し、6日～2週間後に発症します。現在、西日本を中心に感染が拡大中なので注意が必要です。

現在、有効な抗ウイルスやワクチンはなく、

致死率**6～30%**

対策

- ・虫除け剤を使用する。
- ・腕、足、首などの露出を少なくする。
- ・マダニを目視で確認しやすい明るい色の服を着る。
- ・農作業後、シャワーや入浴でマダニがついていないかチェック。

ひと月の動き

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋

～定価(税込)606円 購読申込受付中～

JA全農、事前契約を推進

JA全農は、事業改革方針で示した米の直接販売、買い取り販売の目標を達成していくため、事前契約をよりいっそう推進していく方針を明らかにした。播種前契約や複数年契約の実施時期を作付の前年に早期化する。

17年産でも前年比7%増やす。事前契約、複数年契約、収穫前契約とあり、安定的な取り引き拡大のために複数年契約を軸に数量を増やしていく方針。

JA全農、肥料価格の引き下げへ

JA全農は、2017年度から肥料の共同購入の方法を変えて価格を引き下げる方針を示した。従来は価格の決定後に注文を集めていたが、今後は注文を集めてから価格交渉をする。銘柄数を大幅に絞り込んだうえで、全国の農家からの予約注文を積み上げて“数の力”を背景に入札でもっとも安い価格や購入先を決めていく。

種子法の廃止が決定

都道府県に稲・麦・大豆の種子生産・普及を義務付ける主要農産物種子法の廃止法案が参院本会議で与党と日本維新の会の賛成多数で可決され廃止が決定された。民間参入の拡大による種子開発の活性化などが目的だが、都道府県が担ってきた種子開発・普及への予算を確保できるかという懸念が強く、都道府県が持つ種子の知見の海外流出を心配する声も挙がっている

レガ伊吹の動き

経営所得安定対策“産地交付金”説明

5月の農業組合長会において、米原市・長浜市より地域の実情に応じて戦略作物の生産性向上や地域振興作物の生産に向けた取り組みを支援する“17年版産地交付金”の説明を行い、生産調整作物の考え方について理解を求めた。